




















説明医師

説明看護師(外来)

看護師(病棟)






















様へ

月日	月 日	月 日	
経過	手術前日(入院日)	当日術前	当日術後
目標	○切迫症状が安定(消失)し、安全・安楽に妊娠継続ができ、退院できる ○不安が軽減し、心身の安静が保持できる		
検査			
食事	指示食		絶飲食
	朝食は自宅	 	
処置・観察	<ul style="list-style-type: none"> ・リストバンドを装着します(退院日まで装着します) ・除毛処置があります 	 時間になれば看護師が手術室にご案内します	手術後以下の挿入物、装着物があります <ul style="list-style-type: none"> ・酸素マスク(必要時) → ・心電図モニター → ・点滴の管 → ・尿の管 → ・子宮収縮モニター →
	 赤ちゃんの心音を観察します(妊娠16週以降)		 赤ちゃんの心音を観察します(妊娠16週以降)
 状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります			
点滴・内服		 朝、点滴を開始します 手術室で点滴を行う場合があります	 点滴を行います 子宮収縮予防の点滴または注射を行います  手術室で臍錠を挿入します
	症状によっては安静制限があります  除毛後シャワー浴できます ・弾性ストッキングのサイズを測定しお渡しします	 以下の手術準備をします <ul style="list-style-type: none"> ・手術着に着替え ・弾性ストッキング装着 ・アクセサリ、時計等の取り外し  前日除毛していない場合は除毛後シャワー浴してください  シャワー許可のない方は、清拭を行います	 床上安静となります
説明	 医師・麻酔科医より(外来または入院時) <ul style="list-style-type: none"> ・治療計画について ・手術について ・麻酔について 	 医師より <ul style="list-style-type: none"> ・病状について(適宜) ※切迫症状が治まらない場合は、安静の程度、診療計画が変更になることがあります	
	 看護師より説明 <ul style="list-style-type: none"> ・入院生活について ・持ち物確認 ※マニキュアをとり爪は短く切ってください 指輪も外してください ※持ち物 <ul style="list-style-type: none"> ・テープ式オムツ1枚 ・生理用ショーツ・ナプキン 	 薬剤師より <ul style="list-style-type: none"> ・使用薬剤について 	

*** 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください**

* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。

* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。

月日	月 日	月 日～ 月 日	月 日
経過	術後 1 日目		術後 2 日目～ 4 日目
目標	○切迫症状が安定(消失)し、安全・安楽に妊娠継続ができ、退院できる ○不安が軽減し、心身の安静が保持できる		
検査	 血液検査  尿検査		 術後 3 日目に血液検査、尿検査実施 
食事	昼より全粥 ○常食 治療食(塩分 7g)		朝より ○常食 ○治療食(塩分 7g) 退院日は朝食のみ
処置・観察	手術後以下の挿入物、装着物があります ・酸素マスク→取り外します(必要時) ・心電図モニター→取り外します ・点滴の管 ・尿の管 ・子宮収縮モニター(必要時)  赤ちゃんの心音を観察します(妊娠 16 週以降)		・退院時にリストバンドを外します 点滴終了後抜去します 病状に応じて取り外します 状況に応じて取り外します
 状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります			
点滴・内服	 点滴を行います  子宮収縮予防の点滴または注射を行います  症状に応じて内服薬があります  腔錠を挿入します		・お腹の張り、出血がなくなり症状がおさまれば点滴を中止しますこの時点で、内服に変更となる場合があります  術後 2 日目、ガスがない場合はガスを出しやすくする注射をすることがあります
行動	 医師の診療計画により、指示があるまで安静にさせていただきます  ベッド上安静の方は排泄が床上となりますので、ナースコールでお知らせください  看護師が清拭を行います 洗面の準備も看護師が行います		 尿の管がとれれば、病室内歩行可能です  診察後、創部の治癒状況に合わせてシャワー浴を再開します(週 3 回、病棟毎で日が異なります)  シャワー浴が出来ない場合は適宜、看護師が清拭・洗髪いたします
説明	 医師より ・病状について(適宜)  薬剤師より ・使用薬剤について ※切迫症状が治まらない場合は、安静の程度、診療計画が変更になることがあります		※退院となる場合  医師より ・退院後の治療計画について  看護師より ・退院後の日常生活について 診察、検査の結果問題がなければ退院となります